

9月15日から
老人福祉週間

おとしよりに愛と思いやりを



十五日は敬老の日。一足早く池本市長は、四日市内の最高齢者で、九十七歳の沖田きぬさん(伊勢田町井尻)と高矢忠三郎さん(五ヶ庄檀ノ東)を慰問、ちゃんちゃんこを贈って長寿をお祝いしました。(写真は、沖田きぬさんを励まし、ご苦労をねぎらう池本市長)

この日、午前十一時すぎ、市内の最高齢者で、伊勢田町井尻にお住まいの沖田きぬさん(五ヶ庄檀ノ東)宅を池本市長が訪問。さっそく奥座敷できぬさんと対面、長寿のお祝いにちゃんちゃんこをお贈りし、「おめでとございます。お元気でですね」と激励しました。黒い羽織姿の正装で、元気に市長

市長が慰問

市内最高齢者 97歳沖田さん

「いつまでもお元気で、

を迎えられたきぬさんは、「耳もよく聞こえます。おかげさんで、こんなおとしになってもわずらわしまへん」とあいさつされました。きぬさんは、城陽市寺田のご出身で、明治十七年二月七日生まれ。八年前に京都市北区から宇治へ来て、今、次女の節(せつ)さんと二人暮らし。三十年以上もかぜをひかれたことがないという元

やした顔をほころばせておられました。市長は、このあと、おじいさんの最高齢者の、五ヶ庄檀ノ東、高矢忠三郎さん(明治十七年八月二十五日生まれ)の九十七歳宅を訪問。長寿をお祝いし励ましました。このほか、市では、木幡中村の竹原志満さん(五ヶ庄)、菟道中筋の古家か類さん(五ヶ庄)、小倉町南浦の石川たつさん(五ヶ庄)、神明宮東の中井正太郎さん(五ヶ庄)のみなさんに、記念品をお贈りしました。

節さんのお話では、食欲もおう盛で、朝と晩は茶わんに軽く二杯のご飯、昼は小さなおむすびと果物を食べておられるとのこと。おかげさんで、何食べても、おいしくございます」ときぬさん。日課は、新聞を読むことと、テレビで好きな時代劇を見ることとか。市長が、「もう三年したら百歳ですね。元気に過ごしてください」と励ますと、きぬさんは、たっしやでつやつ

